

## 林 謙治 氏 学位審査結果の要旨

主査：塩島 一郎

副査：岡崎 和一、権 雅憲

食道がんに対する放射線治療後の有害事象の一つに心嚢水貯留があるが、その予測因子についてはこれまで明確に示されていなかった。そこで本研究では、線量容積ヒストグラム(Dose Volume Histogram ;DVH)解析を用いて心嚢水貯留の予測因子について検討がなされた。143 例を対象とし、心臓 DVH パラメータの V5 (Volume 5 Gy: 5Gy を照射された心臓体積の割合を示す数値) から 5 刻みで V60 まで、および最大線量、中央値線量を用いてロジスティック回帰分析を行った。心嚢水発生を 143 例中 55 例(38.5%)に認め、単変量解析では、V60 を除く全ての心臓 DVH パラメータは心嚢水貯留と有意な関係を認めた。心臓 DVH パラメータの V10 72.8%がもっとも鋭敏な cut-off 値であった。以上の結果より、食道がんに対する化学放射線療法では心臓 DVH パラメータが心嚢水貯留の予測因子となることが示された。本研究は食道がんに対する放射線治療後の心嚢水貯留を低減できる可能性を見出した研究であり、臨床的な意義が高く学位に値するものと認められた。